

ファンドマネージャーの眼

ファンドマネージャー独自の視点で市況を分析



『まだ会ったことのない君を、探している』

2016年12月30日

エクイティ運用部

2016年を振り返ると、日頃エンターテインメント業界や企業を調査している筆者にとっては、日本発のコンテンツの強さを再認識する年となりました。

<世界で活躍したキャラクター>

ゲーム市場に関して言えば、任天堂の有力コンテンツの一つである「ポケットモンスター」を活用したスマートフォン向けゲーム『Pokemon GO』は外せません。配信1カ月で最も多くダウンロードされたモバイルゲーム（1億3000万ダウンロード）などを含む5つのギネス記録を達成しました。また、12月15日に配信開始された「マリオ」の最新作『スーパーマリオ ラン』は8日後の12月23日時点には5000万ダウンロードを達成するなど、世代や国籍を超えて世界中で楽しまれています（筆者も両ゲームを遊んでいるユーザーの一人です）。

<日本の映画作品が海外でもヒット>

映画業界でのヒット作品としては、2016年8月から劇場公開されたアニメーション映画『君の名は。』が挙げられます（既にお気づきの方もいるかと思いますが、本稿の表題は同作品のキャッチコピーです）。国内興行収入は200億円を突破し、歴代興行収入ランキングは12月12日時点で4位（邦画では2位 ※1位は『千と千尋の神隠し』）になっています（筆者も映画館で鑑賞しましたが、幅広い年齢層の人が映画館に足を運んでいたことが印象的でした）。また、同作品はアジア各国でも随時公開され、12月2日から上映開始された中国では、公開後16日間の興行収入が約90億円と中国における日本映画の興行収入新記録を樹立しました。

<動画配信サイトで日本人が世界一>

自称シンガーソングライターのピコ太郎が動画投稿サイト「Youtube（ユーチューブ）」に投稿したリズム曲『PPAP（Pen-Pineapple-Apple-Pen）』が世界的に流行しました。「アイ ハブ ア ペーン、アイ ハブ アン ア ヲポー」で始める独特な言い回しと振り付けが注目され、Youtubeの週間再生回数ランキングでは日本人として初めて1位を獲得しました（ちなみに、ピコ太郎の正体はお笑いタレントの古坂大魔王と言われており、昔

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

彼が出演していたテレビ番組「ポキャブラ天国」を見ていた筆者としては、突如として沸いたブームに非常に驚いたものです。

<日本発コンテンツ躍進の要因>

なぜ日本発のコンテンツがこれほど大きな注目を集めたのか、筆者としてはいくつかの要因が重なって起きていると考えていますが、一つにはソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）や動画配信サービスの普及があると推測しています。フェイスブックやツイッター、インスタグラムといった SNS の浸透に加え、前述した Youtube 以外にも Netflix（ネットフリックス）や Hulu（フールー）といった動画配信サービスが提供される環境が整ったことで、情報共有・伝達のスピードが世界中で加速しています。アニメやマンガなどこれまで一部のマニア層を中心に評価されていた日本独自のコンテンツを見聞きする機会が増大し、それに興味を持った人が情報を更に拡散することで、ブームが生み出されやすい状況になっていると思われます。

また、訪日観光客の急速な増加と、それに伴う日本への興味・関心の拡大も追い風になっていると思われます。訪日観光客の中には、来日が 2 回以上というリピーターも増加しており、これまでの家電製品や菓子類を一度に大量に購入する「爆買い」といったモノ消費から、日本文化をもっと知りたい、体験したいというコト消費に対するニーズが高まっています。前述した映画『君の名は。』が海外でヒットしている要因の一つとして、舞台といわれる岐阜県飛騨の情景を色鮮やかに表現したことが、日本文化に興味を持った外国人の琴線に触れた可能性が考えられます。

筆者は日本のコンテンツ産業を、日本経済をけん引する成長分野の一つとして注目しています。2017 年は一体どのようなコンテンツが世界で活躍するのか、日本株のアナリストとしてはその動向をいち早く掴み株式投資に役立てたいと考えています。まだ会ったことのないコンテンツを探すため、今後も調査活動に努める所存です。

併せて、まだ会ったことのない将来の伴侶も血眼で探しています。

以上

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。